

学校教育 目標	自ら学び考える心豊かでたくましい子どもの育成
------------	------------------------

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<p>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <p>大分県学習状況調査(5年生)では、国語、算数ともに目標値を上回った項目が多かった。しかし、国語では「説明文の内容を読み取る」、算数では「変わり方調べ」の項目について課題がある。全国学力・学習状況調査(6年生)の正答率は、国語、算数ともに目標値を上回った項目が多かった。しかし、国語では「書くこと」、算数では「変化と関係」の項について課題がある。</p>	<p>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <p>全国学力学習状況調査から、国語では、授業で物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目する点、算数では、問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えたり、問題が解けたとき、別の解き方を考えようとする点などについて課題がある。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・自信をもって自分の思いや考えを伝えることができるように、ペア・グループ活動の目的・場面・状況を明確にしたことで、考えは伝えられるようになってきているが、話し合いの質を高めることには繋がっていない。 ・他者の思いや考えと自分との違いや共通点を明らかにできるように、ICT機器等の活用や板書の構造化を図ったことで、思考の視覚化が少しずつできるようになっている。 ・全校統一の「振り返り」の視点カードを活用し、活動を充実させてきたことで、自らの成長を実感したり、新たな目標や課題を発見したり、成就感に繋がっている。 ・書く活動では、毎週末に視点を与えた作文や作文ワークなどに取り組みせたり、日々の連絡帳のひとこと日記を必ず書かせたりして、書くことへの抵抗感を減らすようにしている。 	
指導の状況	<p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修では、算数科を主とした互見授業を実施し、授業改善を常時図りながら、児童の表現力を高めることができた。 ・「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の流れを確立し、板書の構造化を図ってきたことで、児童が見通しをもって主体的に授業に参加できるようになっている。 ・児童の思考の流れを大切に、主体的・対話的で深い学びの実践を目指している。 ・ICT機器を積極的に活用することで、児童の関心・意欲が高まり、課題をつかませたり考えを表現したりする場において効果を上げている。 <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を推奨しており、低・中学年を中心に本を読むという意欲が高まっているが、その内容にはまだ指導の余地がある。 ・小中一貫教育として、学習規律の徹底を図り、年間3回の合同研修で確認し合い取組を進めている。 ・学習に向かう力を支える学級経営を営み、安心できる居場所の大切さを再認識している。 ・地域や保護者と連携して、自力登校・基本的な生活習慣・家庭学習の徹底を図っている。 	

学力に関する達成指標

単元末テスト(2教科)において、平均点85点以上の割合80%以上

	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
今後の具体的な取組	<p>〈授業改善のテーマ・重点〉</p> <p>授業改善による確かな学力の定着・向上 小中一貫教育の推進</p>	
	<p>〈取組内容〉・〈取組指標〉・〈検証指標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科担任制の導入、1人一台端末の活用、個に応じた指導・支援等により、低学力層(50点未満)の児童の割合を3%以下にする。 ・子どもが学びを実感できるようめあてや話し合い活動を効果的に設定した授業の実施により、「進んで発言している」児童の割合を85%以上にする。 ・子どもが学びを実感する「まとめ・振り返り」を確実に位置付けた授業の実施により、「授業がよく分かる」と回答する児童の割合を90%以上にする。 ・小中合同研修会を年間3回実施することにより、[小中連携を意識した授業に取り組んでいる]と肯定的に回答する教員の割合を90%以上にする。 	<p>〈家庭・地域の取組内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の推進 ・判田「学習規律」の徹底 ・「判田っ子家庭学習の手引き」活用 ・小中合同の学力向上会議や学校運営協議会を通じ、小中学校に共通する課題の把握や対応策の検討を行う。
	<p>【授業改善以外の学力向上の取組】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学習規律の徹底 ②継続的な学習活動の工夫(タブレット端末の学習アプリ・図書館の活用等) ③ICT機器の効果的な活用 ④学習評価の研究・効果的な実施方法の模索 ⑤地域や保護者との連携(自力登校、生活習慣、家庭学習等) 	